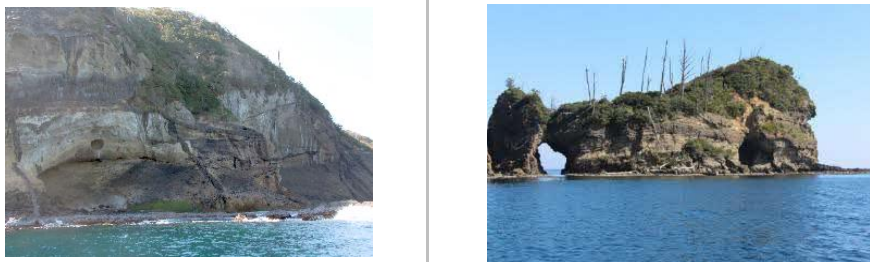


地質サイトカード

カードNo.	A-③-5	通しNo.	28	作成日	2024/7/19
サイト名		つしま 築島の岩脈			
基本情報	エリア	島根半島 探検サイト			
	区分	☒ 地質・地形	☐ 生態	☒ 文化	
	利用価値	☒ 科学	☒ 教育	☐ 観光・ツアー	
	所在地	松江市島根町野井			
	アクセス	松江だんだん道路川津ICから約20km、約25分。			
	周辺施設	☐ トイレ ☐ 売店 ☐ 飲食店 ☐ 駐車場(台) ☐ ウォーキングコース ☐ サイクリングコース ☐ 観光施設()			
	看板整備				
	留意点	船からの探望			
		位置情報	d-1		
保護・保全	法規制・関連団体等	国指定文化財(天然記念物)			
	保全メモ				
サイトの解説	みどころ	築島とその周囲に発達した岩脈群			
	地質・地形	築島の北側の海食崖に見られる白色凝灰岩層(層厚約10m)とそれを貫く安山岩の貫入岩をまとめて、1932(昭和7)年7月に松江市(旧島根町)の天然記念物として登録されたものである。貫入岩は北方に緩やかに傾斜する白色凝灰岩層を岩床として貫入しており、崖の中央付近で一部は分岐しながら薄層化し消滅する。また、一部は主岩脈に垂直に分岐する。 築島は、全体として安山岩の凝灰岩、火山角礫岩、凝灰角礫岩が層状になっており、それらを貫く岩脈群で構成されている。築島の東側には、南北方向の断層がみられ、それらは侵食によって2つの洞門を形成している。そのほか、島の周囲にはノッチが発達する。以下は、天然記念物登録説明文による。 「島根半島ノ北端ヲナセル野波村ノ東海岸ニ近ク存在セル一小島ニシテ全島第三紀ノ凝灰岩ヨリ成レルガ島ノ西北隅ニ當レル断崖ニハ灰白色ノ凝灰岩層ヲ貫ケル黒色安山岩質ノ層脈(水成岩ノ層面ニ沿フテ进入セル岩脈ヲ層脈ト言フ)アリ其上部三メートルニモ同一岩石ノ層脈アリテ之ニ平行ス コノ兩層脈ハ之ヲ横断セル同質ノ幅狭キ岩脈ニヨリテ互ニ相聯絡スル如ク見エ岩脈ハ更ニ上方ニ延ビテ凝灰岩層ヲ貫ケリ又該岩脈ガ上部層脈ト交叉セル部分ヨリハ更ニ一枚ノ薄キ岩脈ヲ分枝ス上記ノ岩脈群ノ西方數十メートルニ當リテ別ニ南北ニ走レル一岩脈アリ其ノ凝灰岩ヲ貫ケル接觸部ニ海水働キテ一洞門ヲ生セリ築島ノ西側ニハ南北ニ並列セル一群ノ小島アリ島ノ東西兩側ハ直立ノ断崖ヲナセリ此等ノ小島ハ岩脈ニヨリテ貫カレタル軟キ凝灰岩質ノ母岩ガ既ニ削蝕セラレタル後ニ堅キ岩脈ノミ残リタルモノナリ又築島ノ東南側ニモ北西ヨリ南東ニ走レル一岩脈アリテ堤防ノ如ク海中ニ連ナルヲ見ルカク多数ノ岩脈ガ小區域ニ集リテ種々ノ現出状態ト削蝕状態トヲナセルハ稀ニ見ル所ナリ」。 大ぞ島では、水冷破碎した火山角礫岩中に貫入してできた放射状節理のある安山岩が分布する。貫入岩体の先頭部が球状になると柱状節理が放射状になるため車石とも呼ばれている。車石を作る貫入岩や岩脈が集中的に狭い範囲に分布することから、大ぞ島は火口付近にあったと考えられている。			
	歴史・文化 生物・生態 等	『出雲国風土記』では、瀬崎の戌として記載されている。海からの侵略を監視、防衛する役目を果たしていたとされる。			
写真・図等					
参考文献		鹿野和彦・吉田史郎(1985)境港地域の地質、島根半島四十二浦巡りの旅			